

# おいしさと暮らしを支える 水利のチカラ

実りの秋も盛りを迎え、おいしい新潟産フルーツが楽しめる季節。  
そこで、毎日当たり前のように口にしている、  
身近な新潟のフルーツが作られている裏側もぜひ知ってみよう。

## 西蒲原地域で生産される みずみずしい『越の雫』

県内の一大穀倉地帯である西蒲原地域は、米以外の農産物の生産も盛ん。なかでも最近、女性を中心に人気広がっているのが、いま旬を迎えているイチジクだ。

イチジクは食物繊維のペクチン、消化を助けるフィシン、女性ホルモンに似た働きをするエストロゲンなど、ミネラルやビタミンが豊富で、その栄養価の高さも注目されているフルーツ。西蒲原地域で生産されているものは『越の雫』というブランド名で、関東や東北にも出荷されている。そこで、イチジクの生産の裏側を知るべく、産地を訪ねた。

10月のある日、10時に訪れたJA越後中央の集荷場には、生産者の車が次々と場内に入り、イチジクが整然と並んだ箱を下していく。朝6時から収穫したというイチジクは表面につやをたたえていて、それはほれぼれするほど美しい。ほのかな甘い香りも漂っていた。

## イチジクは多くの水が必要 でも過度な湿気は嫌う植物

「越の雫は現在、約100軒ぐらいの農家によって生産され、年間180~200トン出荷しています。『榊井ドーフィン』という品種の西洋イチジクで、さっぱりとした甘さがポイントです。そう話すのは、JA越後中央巻営農センターの高橋拓朗さんだ。

西蒲原地域で生産が始まったのは30年ほど前から。「最近では水稲からの転作で取り組む生産者が多いです。イチジクは乾燥に弱いので、水を確保できる場所での栽培が適していますが、一方で根が湿気に弱い面もあるので、水はけも重要なんです。中には水田や畑の下に管を入れて、排水対策している生産者もいます。もと

もと西蒲原一帯は沼地で、排水事業によって乾田化された場所。水は豊かですが、逆に排水にも悩まされてきた歴史があるんですよ」

## 江戸時代からの排水事業で 沼地が豊かな農地に変貌

目の前に広がる田園風景からは、ここが沼地だった過去をにわかには信じがたい。では、沼はどのようにして水田、そしてイチジクを育む畑に生まれ変わったのか。土地改良の歴史について、新潟県新潟地域振興局巻営農振興部で話を伺った。

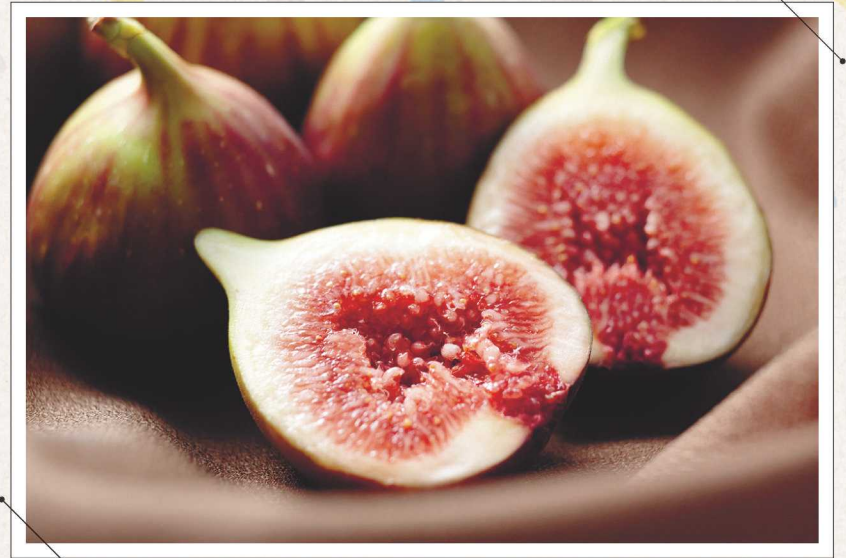
西蒲原地域は日本海の海面より低い、いわゆる海拔ゼロメートル以下で、かつてはガマやアシなどが生い茂る湿原。雨が降ると排水できずに水浸しになり、何度も洪水に見舞われた。米は3年に1回しか収穫できないといわれるなど、大変厳しい環境にあった。

同局の佐藤孝さんは「当時の人々は、水を日本海に流すべく、新川を開削するという大工事に200年前から取り組み、大正2年まで5回の工事が行われました。その後、大河津分水が完成し、さらに新川の水をポンプで強制的に吐き出す新川河口排水機場を含めた整備が完成したことで、現在のような豊かな農地へと変わっていったんです」と教えてくれた。

### ●昔の農業の様子



昭和20~30年代の農作業風景。膝までもぐる湛水地での稲刈は舟が使われ、刈り取った稲を舟で運んだ。(提供:西蒲原土地改良区)



みずみずしい味わいが魅力の『越の雫』。生食はもちろん、ジャムやコンポートにしてもおいしい(写真上)。朝採りしたイチジクを集荷場で検品し、出荷準備に入る(写真下)

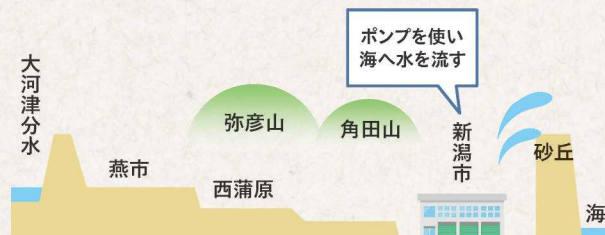
## 農業の水利システムは 私たちの暮らしも守る

現在、西蒲原の広大な農地には、毛細血管のように水路が張り巡らされ、要所に置かれたポンプ場などの設備が24時間体制で運転・管理されている。雨の予報があれば事前に排水量を増やし、洪水を起こさないようにコントロール。農業のための水利システムだが、結果として住宅地も守ることにつながっている。いま施設が停止すると西蒲原地域3万5千ヘクタールのうち、1万ヘクタールが

湖のようになってしまうのだそうだ。さらに、近年は農家が畑作物にも取り組むようになってきたことを受けて、地下から水を供給する設備を導入。「生産者が高い収益を見込める野菜や果物に取り組むのをバックアップする施設でもあります」と話す。

県産イチジクの背景には、水との闘いを、水との共存へと進化させていった人々の努力と知恵があり、それによって私たちの暮らしも守られているという驚きと感謝の事実があった。

### ●現在の西蒲原



西蒲原には現在でも海より低い地域があり、排水機場が重要な役割を担っている。稲作はもちろん、安全で快適な暮らしを支えている。

西蒲原地域の約1/3は日本海の水面よりも低い地形です。洪水を防ぐ水利システムは、農地と地域を守っています



新潟地域振興局巻営農振興部の佐藤さん

年々、『越の雫』ブランドの知名度が上がっているのがうれしいですね。多くの方に味わっていただきたいです

JA越後中央巻営農センター 高橋さん

**展示室** に行ってみよう!

**西蒲原土地改良事業展示室**

西蒲原における水との闘いの歴史や、農業水利事業の内容について、パネル展示や、ジオラマ、ミニムービーなどを通して知ることができます。

所 新潟市西蒲区巻甲5468-3  
時 9:00~16:00  
料 無料  
休 年末年始  
開 西蒲原土地改良区  
電 0256(72)3161

臨場感あふれる映像演出で事業を紹介する西蒲原排水シアター

**新潟県も**  
応援しています

全国有数の「農業王国」新潟。かつて過酷な環境にあった大地は、水路やポンプ場などの農業水利施設や、田畑を計画的に整備する土地改良事業により大きく生まれ変わり、人々の食や暮らしを支えています。「水利が拓く実りの明日へ」は、先人の業績に思いをさせるとともに、農業の理解を深め、その将来を考えるキャンペーンです。

<https://minori-niigata.jp/>